

赤字は変更箇所です

外来担当医表

平成29年5月8日現在

			月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	一般	木村 予約制 中川 大前	木村 予約制 大森	萩原 樋口	木村 予約制 柳澤 米山	山田 鈴木浩	柳澤 米山 (第1週) 萩原 大前 塩澤 (第2週) 中川 鈴木浩 (第3週) 萩原 鈴木浩 (第4週) 柳澤 中川 山田 (第5週)
		専門		【肘・肩】小林 (11:00迄) 【肩】 山本 (11:00迄)				
整形外科	午前	一般	恩田 佐藤 山田	柳澤 中川 常 (第1・3・4・5週)	佐藤 大森 鈴木浩	萩原 大前	恩田 米山	中川 鈴木浩 石綿 (第1週) 大森 米山 山口 (第2週) 柳澤 山田 大前 (第3週) 大森 山田 (第4週) 大森 米山 (第5週)
		専門		【脊椎】筑田 (第2週) 【足】 長谷川				
	午後	一般	常 (第1・3・5週) 鈴木啓 (第1・3・5週) 山田 (第2・4週)	大森	中川	萩原 (第1・3・5週) 柳澤 (第2・4週)	米山 鈴木浩	
		専門	【股関節】 予約制 佐藤	【ESWT】 予約制 柳澤 (第1・3・5週) 萩原 (第2・4週)	【脊椎】 予約制 恩田		【脊椎】 予約制 恩田	
泌尿器科	午前	一般	真下 富田	斎藤	岡村 曲	真下 岡村	岡村	真下 富田 (10:00~)
		一般	岡村	休診	真下	富田	富田	
	午後	専門	【化学療法】 予約制 真下					
内科	午前	一般	谷田部 林 後藤	生方 林 出浦	生方 出浦 相澤	谷田部 相澤 小川	谷田部 生方 出浦	林 相澤 坂入 (第1・3・5週) 富澤 (第2・4週)
		専門		【循環器】 依田				
	午後	一般	【循環器】 予約制 中島	【循環器】 依田				
外科	午前	一般	遠藤	渡辺	萩原	遠藤	萩原 堤	胃カメラのみ
		専門					【血管外科】 予約制 小櫃 (10:00~)	
麻酔科	午前	一般	岩田	伊藤	河野	人見	交替制	
皮膚科	午後	一般			太田 (第1・3・5週)			

※ 木村病院長の診察および特殊外来の一部は予約制です。
※ 整形外科の午後外来は完全予約制で初診患者さんは午前のみの診察です。
※ 生越医師の診察はしばらくの間休診となりますが、別の医師が代診しますのでご相談ください。
※ 金曜日の麻酔科は伊藤→人見→岩田の順の交替制にて診察します。

受付時間	午前	全診療科 8:30~12:00 (※初診は11:30まで)	午後	泌尿器科 14:00~16:00 (※火曜日は休診) 整形外科 15:00~17:00 (※完全予約制)



医療法人社団 善衆会

善衆会病院

〒379-2115 群馬県前橋市筑井町54番地1
TEL 027-261-5410(代表) FAX 027-261-5450
TEL 027-261-4890(予約専用)
<http://www.zenshukai.com>



善衆会病院広報誌「きずな」

絆

広報誌名「絆」の由来
当院と地域住民の方、
当院と近隣医療機関との橋渡しに
なるようにとこの名前がつけました。

Vol. 61
2017.05.20



人工股関節の手術
ー佐藤医師が股関節について詳しく解説しますー

新入職医師のご紹介

お知らせ
第4回腎臓病教室を開催します

人工股関節の手術（人工股関節置換術）

平成28年4月1日に設立された人工関節センターのセンター長を務める
佐藤貴久医師（写真中央）が執刀します。
人工股関節の手術は、細菌感染に十分注意する必要があるため、宇宙服のような
手術着や手術用ヘルメットを着用し、人から発生する塵を防ぎます。

PHOTO

人工股関節の手術

県内初の股関節専門の人工関節センターが設立されてから1年が経ちました。当センターでは昨年度の股関節に関する手術実績が右図の通り**126件**でした。執刀医あたりの手術件数、手術技術において全国トップクラスです。若年者からお年寄りまで、長年股関節の痛みで悩んでいる患者さんに適した治療を積極的にこなっています。また、両足を一度の手術で人工股関節にする両側同時人工股関節置換術（以下、「両側」という。）をおこなっていますが、両側が出来る



人工関節センター長
整形外科 佐藤貴久医師

いうことを知らない人が多いのが事実です。最近では患者さんのネットワークで両側が出来るという話が広まったり、近県からも両側でご紹介いただき来院される患者さんもいます。実際、4~6月にかけて既に両側を受ける患者さんの予約が20件くらい入っています。患者さんの希望に沿った治療ができ、手術を受け「人生が変わった」という患者さんの声や痛みのない生活に戻れている話を聞くと、私自身もとても嬉しいです、やりがいを感じられます。患者さんが股関節の手術をしたことを忘れてしまうくらいの手術をして、患者さんに笑顔を取り戻してあげたいと常に思っています。

当センター5つの特徴

1. 一度の手術で両足を人工股関節にする 両側同時人工股関節置換術が出来る

一度の手術で済むので、時間的にも経済的にも負担は軽くなり、何よりも悪いところを残さず治療するので痛みや日常生活の不自由が一気に解消されます。さらに片側でも両側でもリハビリテーション（以下、「リハビリ」という。）の進行具合や制限にはほとんど差がありません。

- ・これで痛みがなくなる、という期待感の方が強かったです。
- ・不安よりも早く良くなりたという気持ちになったので、両足を同時にしても怖くありませんでした。



2. 痛みの少ない手術 リハビリの提供

手術後のストレスは最小限に抑えたいと考えています。そこで術後数日間の痛み対策として患者さんに合わせて点滴注射などで痛みのコントロールをおこないます。またベッドで安静にしていることで生じる腰背部の痛みを解消するため、安静期間はなるべく設けない方が良く考えています。手術当日から動作制限なく順調にリハビリを進められるように積極的にサポートしています。

- ・麻酔が切れても痛みはなく、手術当日の夕方には動けました。
- ・術後翌日には歩行器を使った歩行練習をし、術後2週間目は杖なしの歩行練習をしていました。



3. バイオクリーンルーム 感染対策

当院の手術室は4つあるうち、2つは清浄度の高いバイオクリーンルームを設けています。人工関節の手術は細菌感染に十分注意する必要があるため、バイオクリーンルームにておこないます。バイオクリーンルームでは特殊な空調により清浄な空気を循環させ、ほとんど塵のない環境を作り出しています。

4. 手術後、 動作制限のない手術

手術前に出来ていた動作は基本的には術後もおこなって良いとお話しています。そのため脱臼しないように、手術は低侵襲でおこない、人工股関節の安定性を何度も確認します。

- ・退院後はお風呂掃除しますし、自転車にも乗っています。
- ・無意識に寝返りしている自分に驚きました。



5. 患者さんのニーズに応える 専門的なリハビリの提供

ぎこちない歩き方が残らないように十分なリハビリを経て退院してほしいです。患者さん個人の目標達成のためにリハビリの質を高め、患者さんがストレスなく意欲的にリハビリに取り組める環境を提供してこそ最大の効果が得られると考えています。

- ・日々できることが増え、気持的にはリハビリ意欲が出てきました。



人工関節センターサイトへの検索キーワードを佐藤貴久医師が解説します～少数意見でもお答えします～

Q 人工関節でどこまで脚長差が無くなりますか？

A 脚長差がどんなに大きくても同じ長さにすることは可能です。脚長差が3cm程度であれば、通常の人工関節置換術で対応出来ます。例えば脚長差が4~7cmの場合、坐骨神経麻痺や筋肉の緊張が強くなるので、神経麻痺を回避するために、大腿骨を3~4cmくらい短縮させて、神経や血管などの緊張を緩めてから本来の位置に戻すことで脚長補正することは出来ます。

Q 本当にバドミントンが出来ますか？

A リハビリをしっかりしていただければ、もちろんできます。患者さんには手術前にできていたこと（スポーツや趣味等）や痛みのせいで今までしたくてもできなかったことを積極的にしていただいています。動作や姿勢を気にしないで安心して日常生活を送って欲しいと常に考えて、手術をおこなっています。

Q 小児の股関節は診てもらえますか？

A 乳幼児からお年寄りまで全ての疾患を診察しています。不安なことはお気軽にご相談ください。股関節脱臼ではまず保存的に装具治療をします。また、学童期における大腿骨頭すべり症はすべりの程度で手術方法が変わります。発症年齢により異なりますがペルテス病は装具治療をおこなっています。その他には乳幼児の化膿性股関節炎や幼児期から学童期の単純股関節炎などを診察しています。

Q 特発性血小板減少性紫斑病でも人工股関節の手術が出来ますか？

A 手術は可能です。手術するまでに通常、血小板が10万くらいあるのが好ましいです。血小板が2~3万と少ない方は出血リスクがあるので、血小板を増加させる薬を使ったり、事前に血小板を輸血してから手術をおこないます。今までにこのような対応をして手術を受けられた方が10名ほどおります。

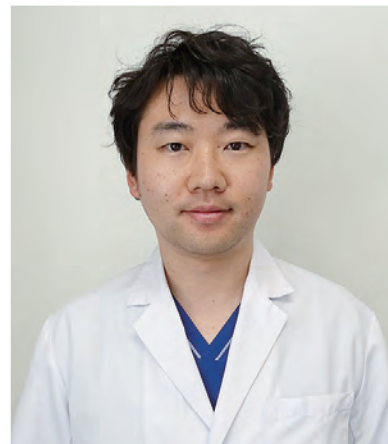
詳しくはこちらからアクセス
人工関節センターサイトへ
<http://jinkoukansetsu.zenshukai.com>



新入職医師のご紹介

整形外科 山田 雄一郎 医師

【専門】関節外科(肩・膝・股関節)、整形外科一般



診療方針や心がけていること

治療のメリット・デメリット、治療に要する期間など、患者さんが治療の見通しが立ち、安心して治療が受けられるような説明を心掛けています。また医学的知識のない自分の家族にもわかるような説明を心掛けています。

趣味や好きなスポーツ

フットサル、旅行です。学生時代の部活は陸上部・写真部でした。

患者さんや当院利用者の方へメッセージ

整形外科領域の病気やけがは患者さんの生活に直結するものなので、困ったことがあったらできるだけ解決できるような治療をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

内科 出浦 洋 医師

【専門】腎臓病、膠原病、内科一般



診療方針や心がけていること

患者さん一人一人の希望と必ずしなければならない検査・治療をすり合わせ、最善の方針を決めることができればよいと思っています。

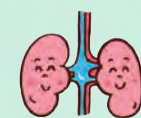
趣味や好きなスポーツ

「ドライブ」でしたが、今は車は動けばいいと思っています。それでもF1だけは毎年観ています。最近は「鉄(鉄道ファン)」になってしまって、乗ったり撮ったりしています。

患者さんや当院利用者の方へメッセージ

心配事などありましたら、気軽に受診して下さい。

第4回 腎臓病教室を開催します



今回は腎臓の機能が低下している方を対象におこないます。ご自身の病期を知り、ポイントを理解して治療を続けることで、透析への移行期間を延ばせるようにしていきましょう。

日時：6月8日（木）14:00～
※15:00頃終了予定

場所：善衆会病院 大講堂

講師：善衆会病院 内科 林医師、
透析室看護師、外来看護師、栄養士

対象：慢性腎臓病の方
※その他透析患者さん・
ご家族の方のご参加も歓迎します

集合：13:40に
善衆会病院 内科待合室

テーマ：慢性腎臓病について

- ・腎臓病の「病期」について
- ・塩分チェック（チェックシートを用います）
- ・ミニストレッチ



お申込み先

透析室 松村 または 外来 糸井 まで
TEL 027-261-5410（代表）



お知らせ

